








# 全国・県学習状況調査における生徒の結果分析（1年）

全体の概要	
国語	全体の正答率は県平均とほぼ同じである。が、設問によっては県平均を大きく下回っているものもあり、対策が必要である。設問ごとの無解答率は県平均をおおむね下回っており、あきらめずに何とか答えようとする態度がうかがえる。

分析結果・課題把握		改善に向けた具体的取り組み事項	
聞話 くす	正答率は県平均をやや上回っている。設問ごとにみても、ほぼ同じかやや上回っている。		CD教材を使った聞き取りの学習や自分の考えを述べる場を、今後も継続して取り入れていく。
書 く	正答率は県平均とほぼ同じである。5つの設問中、単なる要約ではなく要約された表現の効果や工夫をとらえる問題を苦手としていた。		複合型の設問に慣れさせるとともに、要約の仕方や観点について説明させる機会をつくる。
読 む	正答率は県平均とほぼ同じである。文章の要約文を選ぶ問いで、県平均とともに正答率が4割を切っている。		さまざまな種類の文章をめあてに応じて丹念に読み取っていく学習を継続する。また、読書の習慣づけを奨励し、読むことの楽しさを実感させていく。
言語 事項	正答率は県平均とほぼ同じである。漢字の書き取りが不十分である。		単なる暗記ではなく、漢字そのものの意味や熟語としての意味に応じて理解する視点を持たせながら、ドリル学習や小テストを継続していく。

全体の概要	
数学	全体の正答率は県平均とほぼ同じである。要努力の生徒の割合と十分達成の生徒の割合が、共に県平均をやや上回り、算数・数学が苦手な生徒と得意とする生徒とに両極化していく傾向が見られる。しかし、28問のうち正答が10問未満の生徒はごく少数であり、小学校での学習内容のうち基本的知識・技能については、ほとんどの生徒がある程度身につけることができている。

分析結果・課題把握		改善に向けた具体的取り組み事項	
知識・ 理解	知識・理解の正答率は、県平均とほぼ同じである。線分図、分数の大小関係の問題では県平均をやや上回ったが、グラフから意味を読み取る問題をやや苦手としている。		分数の意味について、よく理解できていない生徒もまだまだ多いので、機会をとらえて復習していく必要がある。また、グラフの持つ利便性を良く理解させ、読み取れるようにしていかなければならない。
技能	技能の正答率は、県平均とほぼ同じである。線分図、円周の問題では県平均を大きく上回ったが、単位換算の問題では県平均をやや下回る結果であった。		基本的な技能については身につけている生徒が多いが、十分とは言えない生徒も多いので繰り返し習熟の機会を与えていく必要がある。また、正負の四則演算や文字式など中学校の内容についても苦手意識を持たせないように丁寧に指導していかなければならない。
考え方	考え方の正答率は、県平均とほぼ同じである。割合の問題では県平均を大きく上回ったが、条件を正しく読み取って結果を導く問題はやや苦手としている。		活用に関する問題については、やや苦手とする傾向が見られるため、じっくりと問題の条件を読み取り、既習の学習内容をどのように活用していくべきなのかを考えさせる学習を積み重ねていく必要がある。

# 全国・県学習状況調査における生徒意識調査の結果分析（1年）

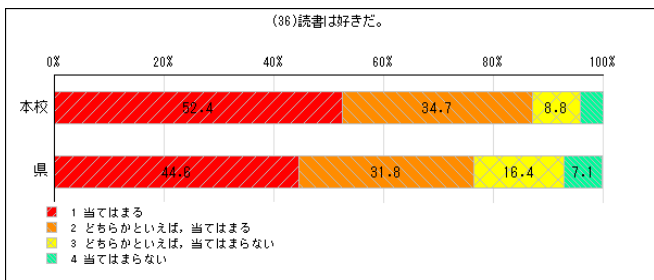
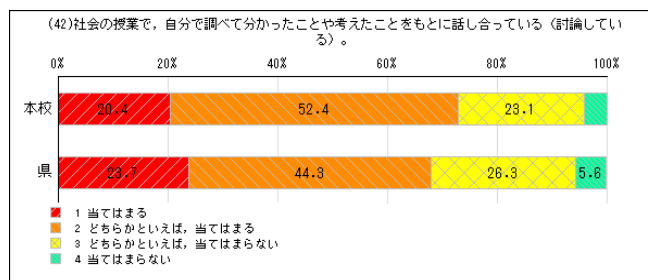
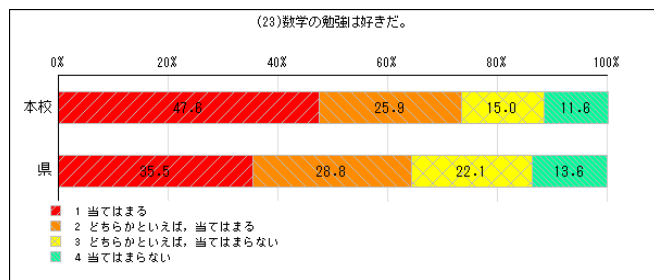
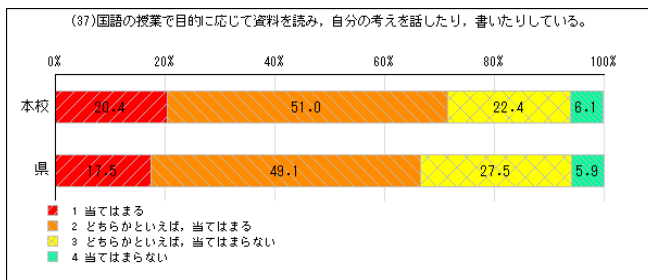
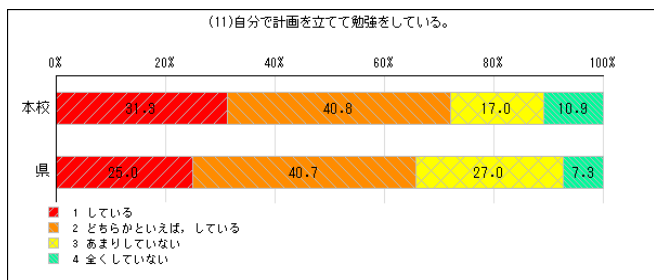
## 分析と改善に向けた具体的取り組み事項

今年度から、定期テスト前にテストガイダンスを設けて、出題者の先生に学習のポイントを全クラスに説明してもらった。初めての定期テストでもあり、どのように学習に取り組んでいいかわからない生徒も多かったと思うが、事後アンケートも80%の生徒が、今後行ってほしいとの要望があり、効果があったと思われる。

朝の会で、読書に取り組ませている。全員本を準備して集中して読んでいるので、読書の習慣は身につけている。図書館をよく利用している。国語でも、資料を読み解く活動が良くできている。  
 社会科では、班活動で調べ学習を取り入れて、班で考え課題解決する学習法を取り入れられている。  
 自分たちで話し合っまとめて意見を発表することには抵抗なく積極的に取り組んでいる姿勢が見られる。

数学に関しては、好きだと感じている生徒が多く、数学の有用性を感じている生徒もやや多い。

## 【 数値が特に高かった項目 】



分析と改善に向けた具体的取り組み事項

土日は勉強せずに、テレビゲームやスマホを操作する時間が長い。そのため、学校の課題を増やしてはどうかという意見が出た。

将来の夢がまだ決まっていない生徒が多いのは、1年生という成長の段階で考えれば低いとは言えないと思うが、今後キャリア教育等を進めて行きながら、職業体験や人との出会いの中で、自分の理想像を考えるきっかけ作りをしていかなければならないと思う。

社会科に関しては、否定的な意見が県平均を大きく上回り、覚えることを苦手としている子が多い。

話し合い活動はできるが、まとめたりすることが苦手である。個人で意見をまとめる活動を重点的に行い、班活動でまとめることができるようにしていきたい。

【 数値が特に低かった項目 】

